

第2学年2組 道徳学習指導案

指導者 川上 信江

1 主題名 いのちのつながり 3—(2) 生命尊重

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目3—(2)は、「生きることを喜び、生命を大切にする心をもつ」ことをねらいとしている。みんなに祝福されてこの世に誕生し、愛されて育ってきた子どもたちがそのことに気づき、感謝や幸せを自覚して自分の生命を大切に思いながら、喜びいっぱいに過ごせるようにしたい。そして日常生活での身近な体験や動植物の飼育栽培などを通して、生命が親から子、子から孫へ受け継がれていくことにも気づかせ、かけがえのない命を大切にしようとする心情をさらに高めていきたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について (男子18人、女子17人、計35人)

児童は野菜の栽培や生き物の観察を通して、自分以外の生命の営みに関わり、生命の不思議に驚き、その成長に喜びを感じていたが、世話ををする様子から一つ一つがかけがえのない命であることに対する認識はもう少し高める必要があると感じた。また、軽はずみな言動で友だちを傷つけてしまったりすることも見られるため、生命は自分との関係の上で大切であるばかりでなく、種の存続のためにも大切であるという事実に気づき、生命を大切にする気持ちをさらに高めたいと考えた。

○自分の心臓の音を聞いたとき、どう思いましたか。(複数回答)

・生きているんだなあ 28人 ・生命は大切だなあ 24人 ・うれしいな 14人

○身のまわりの動植物を大切にしていますか。

・している 25人 ・まあまあしている 7人 ・していない 3人

○まわりの人にやさしくしていますか。

・している 20人 ・まあまあしている 12人 ・していない 3人

(10月3日調べ)

(3) 資料について (資料名 「ぴよちゃんとひまわり」 出典 学研)

本資料は、ひまわりの種から芽が出て生長し、やがて枯れるが、またそこから新しいひまわりが育つといった生命がつながっていく過程をぴよちゃんの視点でとらえているものである。ぴよちゃんの喜びや驚き、そして悲しみを、児童自らの野菜の栽培体験と重ねて考えていくことにより、一つの生命が他の生命にとってかけがえのない存在であることに気づき、生命を大切にしようとする心情を高めることができると考えた。

3 関連

道徳の時間

9月 1—(2)勤勉・努力
「かん字」
心のノート P 18~21

10月 3—(2)生命尊重
「ぴよちゃんとひまわり」
心のノート P 64・65

11月 1—(2)勤勉・努力
「マラソン大会」
心のノート P 18~21

各教科

生活科
やさしいをそだてよう

特別活動

9月 生きているって
10月 ドッジボール大会
12月 好き嫌いをなくそう

学校行事

9月 避難訓練
10月 校外学習、親子学習
11月 創立40周年記念集会

4 本時の指導

(1) ねらい

一つの世代から次の世代へと生命が受け継がれていくことに気づき、生命を大切にしようとする心情をはぐくむ。

(2) 準備・資料

・ひまわりの種と花 ・場面絵 ・ぴよちゃんシール ・ワークシート ・BGM用CD

(3) 展開

(◎研究主題に迫るために)

段階	主な活動	予想される児童の反応	支援の手だて
であ う と ら え る み つ め る 広 げ る	1 ひまわりの種が育つと大きな花になることについて話し合う。 2 資料「ぴよちゃんとひまわり」の話を聞いて、ぴよちゃんの気持ちの変化について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい種がこんなに大きな花を咲かせるなんてすごい。 ・種って不思議だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・種や、大きく育ったひまわりを見せて、生命の力強さや不思議さを感じ取れるようにする。 ・ぴよちゃんシールを胸にはり、ぴよちゃんの立場でひまわりの一生を見ていくという意識をはつきり持てるようにする。
① 毎日、ひまわりさんとすごしたぴよちゃんは、どんな気持ちになったでしょう。			
		<ul style="list-style-type: none"> ・お日さまみたいでうれしいな。 ・お話がでけて楽しいな。 ・元気が出るよ。 ・おいしそうだけど、友達だから食べないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・種を食べたいと思っている場面を振り返り、ぴよちゃんの気持ちが明るく変化してきたことやひまわりとぴよちゃんの気持ちのつながりに気づけるようにする。
② たおれてしまったひまわりさんを見て、ぴよちゃんはどんな気持ちになったでしょう。			
		<ul style="list-style-type: none"> ・どうして枯れてしまったの。 ・お日様みたいにもう一度笑つて。 ・友達がいなくなってきたさびしい。 ・これからもずっと忘れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・枯れたひまわりを見せることでひまわりとの二度と会えない別れであることに気づかせ、ぴよちゃんの悲しみの深さを想像できるようにする。
③ 種の赤ちゃんがひまわりの花をさかせたのを見て、ぴよちゃんはどう思ったでしょう			
	3 自分の生活を振り返りいのちを大切にすることへの思いについて、ぴよちゃんに手紙を書く。 4 G Tの話を聞く。 ・校長先生の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりがいっぱい咲いてうれしい。 ・見ていると元気になる。 ・ひまわりさんの命は赤ちゃんに受け継がれた。 ・ひまわりさんの赤ちゃんを大切にしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・わたしが大切に育てたナスにナスの赤ちゃんができた。 ・つかまえたバッタはお母さんだったかもしれない。逃がしてあげて良かった。 ・自分の命を大切にしているよ。お母さんからつながっている命だったんだね。 ・友だちの命も自分と同じくらい大切にしたいな。 	<p>◎じっくり話し合って互いの考えを伝え合い、友達の考えを参考にしながら自分の考えを深めていけるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種から新しい命が生まれたことから生命のつながりに気づかせ、「ぴよちゃんはどうしたいと思っているの」という発問を準備し、大切にしたい思いにまで気づけるようにする。 <p>◎野菜の観察記録カードを、ワークシートとともに提示し、身近なところにある生命のつながりや、それを大切にしている自分に気づけるようにする。</p> <p>(評) 生命が受け継がれていることに気づき、生命を大切にしようとする心情が高まったか。</p> <p style="text-align: right;">(発表・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命を大切に思う気持ちを話し余韻をもって終わりにする。

5 事後指導

心のノートP. 64・65 「生きてるね・つながってるね・かがやいてるね」についてせせらぎタイムで話し合い、生命を大切にすることをより意識した日常生活を送れるようにする。